

平成 25 年 1 月 9 日
財 務 部 経 理 課

「世田谷区公契約のあり方に関するシンポジウム」の開催結果について

平成 24 年 11 月 30 日（金）に、世田谷区民会館集会室におきまして「世田谷区公契約のあり方に関するシンポジウム」を開催いたしましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1. 開催時間、来場者数

- ・開催時間 午後 6 時 30 分から 8 時 30 分まで（2 時間）
- ・来場者数 240 名（会場定員：240 名）

<内訳>

- ・事業者関係（参加団体含む） 107 名
- ・労働者関係 110 名
- ・その他一般 23 名

2. シンポジウム次第

- （1）主催者挨拶
 - ・保坂展人世田谷区長、高橋健一公契約推進世田谷懇談会代表
- （2）世田谷区公契約のあり方検討委員会の検討状況報告
 - ・塚本一郎検討委員会会長
- （3）先行自治体（野田市）からの報告
 - ・佐久間進総務部管財課長
- （4）参加団体の意見発表等

3. 当日配布資料

別添のとおり

4. 参加団体等の主な意見

- 地元産業育成のため、区内本店であることや区と防災協定を結んでいることを入札参加条件としてほしい。
- 入札に際して、区からの受注や施工実績を考慮してほしい。
- 資材等が値上がりしているので、適切に積算単価に反映するとともに、最低制限価格を引き上げてほしい。
- 現場の状況変化等に対しては、適切に契約変更をしてほしい。
- 一番の問題はダンピングである。公契約の検討にあたっては、この根本的な部分の解決を目指してほしい。
- 予定価格の事前公表は廃止すべきである。
- 予定価格の積算内容・内訳等については、もっと情報公開をすべきである。
- 公契約のあり方の検討とともに、入札制度改革をあわせて進めてほしい。
- 総合評価競争入札を積極的に活用してほしい。

など